

市民の命を最優先に今夏の五輪中止の要請を

《市独自にPCR検査の拡大を》

市の資料から、介護・障がいサービス・学校・認可保育所の職員数は約4300人。プール方式で東京都公表の一番安い検査機関を利用し、2週に1回を半年続けて約2300万円で実施可能。

問) 無症状者を早期に発見し、感染拡大を防止するために、市独自に拡大を。

答) 検査方針は国・都からの指示。動向を注視したい。

※市長は医療従事者などに「感謝」と言うが、言葉だけでは意味がない。感染を防止するために市独自に検査拡大すべき。

《新型コロナワクチン接種の確実な推進を》

問) 西側地域でのワクチン接種会場の確保を。月に何日かを西側公共施設で実施できるように検討を。

答) 現行体制で実施しながら状況を見極める。

※早急な検討を求める。

《オリパラ中止の要請を東京都に》

問) 限界を超えて奮闘している医療従事者に負担をかけるべきではない。感染拡大をゼロにできず、医療機関ひっ迫のしわ寄せは市民の命にかかわる問題。都に中止の要請を求める。

市長) 私はこの場では答えにくい。都などの議論を見極めていく。

※開催都市の一自治体の市長として、市民の命

日本共産党国分寺市議団
中山 こう



を最優先に、都に中止を要請すべき。

《五輪観戦への小中学生の動員は中止を》

問) 感染拡大前の子どもの観戦動員計画が進められている。都教委に観戦動員中止の要請を。

教育長) 感染対策など、新たな情報が何もきていない。来るべき時に検討していきたい。

※今の時期に新たな情報がないのであれば、子ども最優先に中止を都教委に要請すべき。

他に、生活保護申請時の扶養照会の中止、子どもの国保税軽減などを求めた。

自治のパートナーとして市民と向き合うべき

中沢 20を超える市民団体が参加し、市長や市の幹部職員と対面、懇談してきた「市民要求実現国分寺実行委員会」との対話は40年間続いて来た。塩谷、本多、山崎、星野と歴代市長が参加して来たが、二年前から書面による要望、回答のみで、市民の重ねての対話要望が拒否されている。向き合っただけの話し合いは自治基本条例の基本であり、協力して市政を発展させるとの認識に欠けているのではないか。

市長 実行委は承知しているが参加したことはない。意見箱、メール、手紙に対して回答書を作ってお渡ししている。目を通してはいる。

中沢 直接に、市長や市幹部に要望し、返事も

聞く場は相互理解に有効だ。違いがあっても対話し合い前に進めようと求めていることだ。

国分寺駅北口広場の市民活動を制約、管理強化は間違っている!

中沢 4月11日に北口広場において、フードバンク実施のために机一つ、イスを2~3出して準備を始めたら、市の委託事業所員から「許可がないとできない」と言われ、やむなく広場の隣接道路上で実施した。交通の妨げにもならなかった。近くの交番からも指摘はない。駅の南口では四回のフードバンクを実施したし、武蔵小金井南口でも四回実施、両方が交番の前であり、問題はなかった。許可不要で実施した。

日本共産党国分寺市議団
中沢 正利



部長 道路法の禁止行為だ。イベント広場(有料)の活用をしていただく。

中沢 判例も無視しあらたな国分寺基準の解釈と運用になっている問題がある。公共の福祉に反しない、交通や歩行者を妨げたり、混乱を生じない限り、市民の表現の自由、活動の権利は守るべきである。不断の努力が求められている。

中沢 聞こえのバリアフリー、難聴者支援について。さらに子どもの医療費助成制度の拡大について質問。いずれも、他市の動向を見守るなどの立場にとどまっており、要望を重ねた。

新型コロナ対策最優先!

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

本橋たくみ) 新型コロナウイルス対策に対して従事されている皆様に、改めて感謝を申し上げます。5/13現在、世界全体で感染者数が1億6,216万5,030人死者が333万4,031人で、国内を見ると国内感染者が累計で68万4,722人、死者が1万1,523人ということであり、改めてお亡くなりになりました皆様の御冥福をお祈り申し上げますとともに、今現在療養されている皆様の一刻も早いご快復をお祈りさせていただきます。

●ワクチン接種について 本橋たくみ) 2020年、まさに歴史に名を残す1年となった。人々の生

活を変え、世界を変え、経済が止まり、文化を遠ざけ、楽しみを奪ってきた新型コロナウイルスであるが、ワクチンにより、一筋の光が見えてきた。当市ではファイザー社のメッセンジャーRNAワクチンの接種が始まっているが、人口の6割から7割が接種すれば集団免疫が獲得できると言われている。今後も国、東京都、市と連携しながら円滑に接種が進むよう求める。

市) 円滑に接種が進むよう緊張感を持って取り組む。本橋たくみ) ワクチンの廃棄ロスが課題となっている。取り組みを問う。市) 予約当日にキャンセルがあると、廃棄ロスのリスクがある。そのため、65歳以上の職員を接種対象に廃

自由民主党市議団
本橋 たくみ



棄ロスが出ないように取り組む。今後も廃棄ロスが出ない仕組みを構築していく。

2. 少子化対策について 本橋たくみ) 東京都の合計特殊出生率は全国で一番低い。国分寺においても産み育てやすい環境をさらに追求していく必要がある。市) 更に子育て支援に力を入れていきたい。

3. 夏季休業明けの学校給食について 本橋たくみ) 夏休みが短縮され、夏休み明けから一週間給食がない。他市では早く提供しているところもある。市) 他市を研究していきたい。

引き続き、政策実現のための行財政改革を!

木村=井澤市政8年間の財政改革については高く評価する。市長自身の総括と、今後の展望は。市長=就任時は大変厳しい財政状況であったがこの間、国分寺駅北口再開発を完成させ、3市共同ゴミ処理施設の完成などの成果を上げてきた。また小中学校の教室・体育館へのエアコン設置やトイレの洋式化も進めてきた。これは単に歳出縮減ということではなく、議員から提案頂いた税外収入確保を含めやるべきことをやった上で財源確保もできた結果である。この間、少しずつ右肩上がりでも税収も増加でき、庁舎基金も50億円近く積めた結果、新庁舎建設事業も進めることができた。今後は保育園や学童保育所

等、子供たちの安全に資する政策や、市内中小事業者への継続的な支援を進め、魅力発信をしながら市民に満足してもらえまことにしていく。木村=庁舎移転に当たり、現庁舎跡地活用に関しては、市役所がより遠くになってしまう北部や西部地域の方々の意見を丁寧に聞いて欲しい。部長=どのような施設を作るか、ご不便をかける市民の意見を丁寧に聞いて進めていく。

木村=来年から18歳成人となるが、義務教育時点から模擬体験等を活用しながら、権利と義務についてしっかり教えるべきだ。

教育長=18歳までに大人への教育を完了する為に、より密度の濃い教育をしていく。その中で

無会派
木村 徳



模擬体験授業も取り入れながら契約行為等の権利と義務についてもより丁寧に教えていく。

木村=他市でも市史再編案が進んでいる。歴史的な文書等が失われる前に国分寺市史再編案を。

部長=来年は武蔵国分寺史跡指定100年で、こうした節目にスタートできるよう取り組む。

木村=一方で、公文書の「永年保存」の廃止が検討されている。50年100年先の市民にも責任を果たすためにも、適切に保存すべきだ。

部長=永年保存廃止は課題が多いと認識する。

市長=永年保存について真剣に考えていく。